

# 磐城平城文献等調査報告書

2022

いわき市





いわき市平空中写真 (CTO201312-C37 平成25年(2013)撮影) (写真左が北)



## 市民の皆様へ

本書は、本市の歴史を振り返る上でシンボリックな場である磐城平城を、地域の「たから」として、未来へ継承し、市民の皆様がふるさとの歴史に関心を持つとともに、その歴史を理解し大切にす意識の醸成を図ることを目的に、磐城平城の歴史的価値を検証し、その内容を取りまとめた報告書です。

磐城平城は、いわき地方の政治支配の拠点であっただけでなく、地域社会の経済・文化の中心地として大きな役割を果たすとともに、歴代藩主の功績のほか、奥羽越列藩同盟や戊辰戦争など、本市のみならず日本、東北地方、福島県の視点からも歴史的な意義が大きく、この貴重な歴史を次世代へと引き継ぐことが大切です。

市としましても、平成30年度から令和3年度にかけて実施した文献等の調査の成果は、本市の歴史や文化の成り立ちを理解する上で、大変重要であることから、市民の皆様に広く公開するなどし、磐城平城の歴史、そして、その価値を後世に伝える取組みを進めてまいります。

最後に、この文献等調査を実施するにあたり、御理解と御協力をいただきました「磐城平城文献等調査会議」の委員をはじめ関係者の皆様に、心から感謝申し上げますとともに、本書が、関係者をはじめ、市民の皆様に広く活用されることを祈念いたします。

令和4年2月

いわき市長 内 田 広 之

# 磐城平城文献等調査報告書

## 目 次

第1章	調査の経緯	1
1	調査の契機と目的	1
2	調査の計画と経過	1
第2章	領主の変遷と主な出来事	7
1	鳥居氏時代	7
2	内藤氏時代	10
3	井上氏時代	15
4	安藤氏時代	16
第3章	磐城平城の歴史	21
1	戦国大名岩城氏の支配と没落	21
2	本丸御殿の使われ方	23
3	磐城平城と戊辰戦争	25
第4章	明治時代以降の磐城平城	37
1	明治維新における城跡の処分	37
2	城跡の利活用に向ける視線の行方	40
第5章	城下町の暮らしと文化財	45
1	平城下の賑わい	45
2	紺屋町の賑わい	49
3	城下町の祭りや行事	50
4	城下周辺の文化財と旧跡	54
第6章	磐城平城の絵図と土地利用	61
1	城絵図の概要	61
2	城絵図の解説	66
3	明治時代以降の土地利用	81
第7章	磐城平城の縄張りと建築	93
1	縄張りとは構造	93
2	城郭建築	101
第8章	発掘調査の成果	115
1	調査の概要	115
2	調査の成果	120

第9章 ま と め ..... 171

コラム

1 内藤時代の災害と城普請	18
2 磐城平城の「史料批判」を考える	19
3 本丸に呼ばれる百姓たち	34
4 長橋の架け替え	35
5 常磐線建設と城の内堀	42
6 平城下の地名変遷	88
7 岩城国平城木図について	90

史資料編

1 史料編	1
2 絵図編	99

図 目 次

図1 鳥居元忠	7	図27 揚土周辺武家屋敷と飯野八幡	48
図2 鳥居氏系図	7	図28 文化財と旧跡の位置図(1)	55
図3 内藤氏系図	10	図29 平城下周辺の文化財と旧跡(1)	57
図4 内藤政樹	11	図30 平城下周辺の文化財と旧跡(2)	58
図5 正保平城絵図控部分	12	図31 平城下周辺の文化財と旧跡(3)	59
図6 奥州磐城平城下絵図	14	図32 文化財と旧跡の位置図(2)	60
図7 奥州磐城平城下絵図	14	図33 正保平城絵図控	69
図8 奥州磐城平城下絵図	14	図34 平城下古地図	73
図9 奥州磐城平城下絵図の模写	15	図35 磐城平古地図	75
図10 井上氏系図	15	図36 磐城平城下絵図(岩城平ノ絵図)	77
図11 安藤氏系図	16	図37 陸奥州磐城平城内郭殿中図	79
図12 安藤信正	17	図38 明治時代初期における磐城平城跡および 周辺の土地利用	82
図13 磐城平城本丸御殿	23	図39 4村が合併して平町が成立	83
図14 小座敷(機事用談所)	25	図40 平市街図	83
図15 奥州平城攻撃略図	32	図41 平町全図	84
図16 旧磐城平城跡	37	図42 古川と新川の位置図	85
図17 藩政庁と知事様御住居	38	図43 平市街と新川、古川の位置図	86
図18 搔(才)榎門(平藤間)	39	図44 平市街における水路の変化	87
図19 磐城平城跡地の遠景	40	図45 安藤氏時代の磐城平城	94
図20 明治時代初期における磐城平城跡 および周辺の土地利用	40	図46 絵図A 正保平城絵図控	97
図21 明治時代の磐城平城跡および周辺	41	図47 絵図B 磐城国平城内修理下絵図	97
図22 磐城高等女学校	41	図48 絵図C 磐城平古地図	99
図23 磐城平城下復元図	44	図49 絵図D 磐城平城下絵図(岩城平ノ絵図)	99
図24 一丁目から三丁目周辺	46	図50 絵図E 大手門(絵図A拡大)	100
図25 白金町・中間町周辺	47	図51 絵図F 大手門(絵図B拡大)	100
図26 鎌田周辺と夏井川渡し	48	図52 本丸御殿の復元図(案)	102

図53	本丸御殿の位置(推定図)と発掘調査区	103
図54	三階櫓	105
図55	弘前城辰巳櫓断面図	106
図56	弘前城追手門立面図・断面図	106
図57	八棟櫓	107
図58	その他の櫓	109
図59	搔(才)樋門	110
図60	長橋門	110
図61	性源寺山門	111
図62	佐原家門	112
図63	八代家門	112
図64	賢沼寺山門	113
図65	大和田家門	113
図66	埋蔵文化財包蔵地「平城跡」の範囲	115
図67	平城跡関連調査位置図(1)	116
図68	平城跡関連調査位置図(2)	117
図69	南上空から見た磐城平城本丸跡	121
図70	真上から見た磐城平城本丸跡発掘調査区全景	121
図71	本丸跡調査位置図	122
図72	本丸跡の調査位置と本丸御殿の復元案	123
図73	本丸跡発掘調査遺構検出状況	124
図74	本丸跡確認調査遺構検出状況(1)	127
図75	本丸跡確認調査遺構検出状況(2)	128
図76	本丸跡確認調査遺構検出状況(3)	129
図77	本丸跡発掘調査出土遺物(1)	130
図78	本丸跡発掘調査出土遺物(2)	131
図79	本丸跡確認調査出土遺物(1)	132
図80	本丸跡確認調査出土遺物(2)	133
図81	本丸跡確認調査出土遺物(3)	134
図82	磐城平城跡塗師櫓石垣 東面	136
図83	磐城平城跡塗師櫓石垣 北面	136
図84	磐城平城跡塗師櫓石垣 現況平面図	137
図85	磐城平城跡塗師櫓石垣 東面	138
図86	磐城平城跡塗師櫓石垣 北面	138
図87	磐城平城跡塗師櫓石垣 西面	138
図88	磐城平城跡塗師櫓石垣 東面横断面図	139
図89	磐城平城跡塗師櫓石垣 北面断面図	139
図90	磐城平城跡塗師櫓石垣 南面石材撤去範囲 および横断面図	139
図91	旧城跡地区確認調査土層堆積図	141
図92	旧城跡地区確認調査区全景	142
図93	旧城跡地区確認調査出土遺物(1)	143
図94	旧城跡地区確認調査出土遺物(2)	143
図95	六間門地区確認調査出土遺物	145
図96	いわき駅前再開発事業立会調査出土遺物	147
図97	並木通り地区確認調査出土遺物	148
図98	いわき駅南口地区確認調査遺構配置図	149
図99	いわき駅南口地区確認調査出土遺物	150
図100	南上空から見た揚土地区	153
図101	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査区近景	153
図102	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(1)	157
図103	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(2)	157
図104	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(3)	158
図105	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(4)	158
図106	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(5)	159
図107	揚土地区・平第一小学校地点 発掘調査出土遺物(6)	159
図108	西上空から見た桜町遺跡	161
図109	真上から見た桜町遺跡発掘調査区	161
図110	桜町遺跡発掘調査出土遺物(1)	162
図111	桜町遺跡発掘調査出土遺物(2)	162
図112	高月遺跡発掘調査出土遺物	167
図113	大館城跡A地区の範囲と調査位置図	168
図114	真上から見た大館城跡A地区 確認調査区全景	168

## 表 目 次

表1	磐城平城文献等調査会議	2
表2	磐城平城関連年表	8
表3	磐城平藩の人口(1711年)	13
表4	磐城平藩の家数(1711年)	13
表5	磐城平藩の処分	37
表6	絵図一覧(1)	62
表7	絵図一覧(2)	63
表8	絵図一覧(3)	64
表9	絵図一覧(4)	65
表10	平城跡関連発掘調査実施状況	118
表11	磐城平城跡塗師櫓石垣の計測値	137

## 例 言

- 1 本書は、磐城平城文献等調査報告である。
- 2 本書はいわき市の委託を受けて、公益財団法人いわき市教育文化事業団が編集したものである。
- 3 本書の編集は、いわき市が設置した「磐城平城文献等調査会議」の協議および検討を経て行われた。
- 4 本書に収録した絵図(第6表)については、国立国会図書館、国立公文書館、明治大学博物館、岡山大学附属図書館、公益財団法人前田育徳会、松江歴史館、静嘉堂文庫、富原文庫から写真データを提供していただいた。これ以外は神田写真事務所が撮影したものである。
- 5 城絵図以外の収録写真については、写真キャプションに所蔵者を記している。無記名のものは市所有のもの及び執筆者が撮影したものである。
- 6 本書の執筆は次の通り分担した。  
事務局：第1章・第9章  
渡辺文久：第2章1・3・4、第3章2、第5章1  
田仲 桂：第2章2、コラム1・2・7  
夏井芳徳：第3章1・3、第5章3、第6章1・2  
小宅幸一：第4章、第6章3、コラム5・6  
四家久央：第5章2、コラム3・4  
中山雅弘：第5章4、第7章1  
松本庸器：第7章2  
いわき市教育文化事業団：第8章
- 7 第8章の執筆者については各節の末尾に名前を明記した。
- 8 本書に収録した史資料編は、田仲桂が校訂し解題を付した。
- 9 本事業の調査及び報告作成にあたり、多くの方々の御指導御協力をいただいた。ここに芳名を記し感謝の意を表したい(敬称略・五十音順)。  
有賀行秀・安藤綾信・飯村 均・漆原 敬・江尻由子・大平好一・小笠原永隆・沖屋雄大・加藤丈晋・菅野智則・菊地芳朗・北野博司・齋藤富士男・佐藤真由美・鈴木 功・千田嘉博・辻 秀人・外山 徹・中井 均・永井康雄・中野正人・日比佳代子・平田禎文・藤澤 敦・堀内秀樹・堀江 格・増田 豪・松井延之・山崎慶一・渡邊智裕  
いわき市立図書館・福島県立図書館・福島県歴史資料館・岡山大学附属図書館・国立国会図書館・国立公文書館・静嘉堂文庫・精忠神社・富原文庫・延岡市内藤記念館・公益財団法人前田育徳会・松江歴史館・壬生町立歴史民俗資料館・明治大学博物館

# 磐城平城文献等調査報告書



# 第1章 調査の経緯

## 1 調査の契機と目的

磐城平城は、慶長7年(1602)に、磐城平藩10万石で入封した鳥居忠政が新たに築城した城郭で、その範囲はいわき市平字旧城跡・六間門・田町など広範囲に及ぶ。JR常磐線いわき駅の北側の台地にある本丸跡地を中心に多数の曲輪群や周囲に配置された家臣の屋敷、内堀の名残である丹後沢など、現在でも往時の面影をしのぶことができる。

磐城平城本丸跡地については、平成27年(2015)4月から年間を通じて一般開放のイベント等が継続して行われてきたことなどにより、いわき市の歴史や文化に対する市民の関心や郷土の貴重な歴史的資産を後世に継承する意識が高まりつつあることから、市では磐城平城の歴史を後世に伝える事業を展開する中で、磐城平城の歴史的検証を行う磐城平城文献等調査を実施することとした。

磐城平城文献等調査は、いわきの歴史を振り返るシンボリックな場である磐城平城を、地域の「たから」として、未来への継承と地域活性化を実現させるため、磐城平城等の歴史的価値を明らかにし、市民が自分たちの歴史に関心を持ち理解し大切にするという意識を醸成することを目的としている。

このため文献等調査により、①磐城平城が築城された背景、②磐城平城及び磐城平藩が担っていた役割、③それにとまなう生活文化の変遷、④廃城になってからの城跡の扱い等を明らかにしながら、磐城平城の歴史的価値の検証を行うこととした。

## 2 調査の計画と経過

### (1) 調査の計画と内容

文献等調査は平成30年(2018)度から令和3年(2021)度にかけて実施し、令和3年度は報告書の作成を行った。調査および報告書作成は、公益財団法人いわき市教育文化事業団(以下、「教育文化事業団」という。)に委託した。

教育文化事業団では担当職員を選任し、歴史部門・地図部門・城郭部門・埋蔵文化財部門の4つの調査チームを編成し、文献等調査を実施した。あわせて報告書の執筆を専門家・有識者に個別に依頼した。

調査の内容は次のように、歴史・地図・城郭・埋蔵文化財の4つの視点に基づき、磐城平城等の歴史的価値を明らかにすることとした。

#### ア 歴 史

- ① 磐城平城の沿革
- ② 明治以降の本丸跡地の沿革
- ③ 歴代藩主の事績
- ④ 城下町の行事・民俗

イ 地 図

- ① 絵図と現在の地図との比較
- ② 地形の変遷
- ③ ゆかりの地

ウ 城 郭

- ① 構成(縄張り)
- ② 造成(普請)
- ③ 建物(作事)
- ④ その他 現存遺構

エ 埋蔵文化財

- ① 発掘調査の成果
- ② 発掘調査の出土品

(2) 磐城平城文献等調査会議の設置

当初の目的を達成し調査を遅滞なく実施するため、いわき市は「磐城平城文献等調査会議」を設置した。会議の所管事項は、(1)文献等調査、(2)報告書作成、(3)報告書の活用、(4)その他調査のために必要な事項について、協議および検討を行うことである。委員は表1のとおりであり、任期は平成31年2月8日から令和4年3月31日である。

表1 磐城平城文献等調査会議

氏名	所属等	分野
小野 一雄	いわき歴史文化研究会、福島県史学会 いわき地方史研究会、いわき地域学会	文献史学(近世)
四家 久央	いわき市文化財保護審議会、いわき歴史文化研究会	文献史学(近世)
田仲 桂	いわき市文化財保護審議会、福島県史学会、福島県民俗学会	文献史学(近世)
山名 隆弘	いわき地域学会、大國魂神社	文献史学(中世)
渡辺 文久	いわき市文化財保護審議会 いわき歴史文化研究会、常磐炭田史研究会	文献史学(近世)
夏井 芳徳	いわき総合図書館 いわき地域学会、いわき明星大学客員教授	地域学、民俗学
小宅 幸一 (座長)	いわき地域学会、いわき明星大学客員教授	地域学(近代)
檜村 友延	いわき市文化財保護審議会 いわき地域学会、いわき地方史研究会 日本考古学協会、福島県考古学会 公益財団法人いわき市教育文化事業団	考古学(近世)
中山 雅弘 (副座長)	いわき地域学会、いわき地方史研究会 日本考古学協会、福島県考古学会 公益財団法人いわき市教育文化事業団	考古学(中世)
松本 庸器	いわき市文化財保護審議会 公益社団法人福島県建築士会いわき支部 特定非営利活動法人日本伝統建築技術保存会 宮大工(1級建築士)	建築
加治 雄司	平安会(安藤家縁故者代表)	安藤家史料
山崎 建見	たいらまちづくり株式会社	まちづくり
高橋 克江	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー (平成31年度～令和元年度)	観光
坂本 新輔	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー (令和2年度～)	観光

(所属は就任時)

## (3) 調査の体制と経過

## ① 調査の体制

## ○市担当

文化スポーツ室

室長 津田一浩(平成30年度～令和2年度)・齊藤和哉(令和3年度)

文化スポーツ室文化振興課

課長 鈴木常夫(平成30年度)・諏江仁(令和元年度)・本田功(令和2年度)・  
小島誠一(令和3年度)課長補佐 久保木隆広(平成30年度)・園部洋(令和元年度～令和2年度)・  
小林洋平(令和3年度)文化財係長 猪狩光(平成30年度)・小林洋平(令和元年度～令和2年度)・  
蛭田陽子(令和3年度)

担当職員 主査 坂本智彦(平成30年度)・主査 平澤和也(令和元年度～令和3年度)

## ○教育文化事業団

担当職員 木幡成雄(事務局次長)

佐藤耕太郎(いわき市考古資料館学芸員・令和2年度)

## ○調査チーム

歴史部門担当 馬目紗希(教育文化事業団職員)

調査員 四家久央・田仲桂・渡辺文久・夏井芳徳

地図部門担当 木幡成雄(教育文化事業団職員)

調査員 中山雅弘・小宅幸一・夏井芳徳・加治雄司

城郭部門担当 中山雅弘(教育文化事業団職員)

調査員 檜村友延・夏井芳徳・松本庸器

埋蔵文化財部門担当 江川逸生・木幡成雄(教育文化事業団職員)

調査員 高橋忠道・檜村友延・高島好一・中山雅弘

## ○執筆者

歴史部門担当 馬目紗希(教育文化事業団職員)

調査員 小宅幸一・四家久央・田仲桂・夏井芳徳・渡辺文久

地図部門担当 木幡成雄(教育文化事業団職員)

調査員 小宅幸一・中山雅弘・夏井芳徳

城郭部門担当 中山雅弘(教育文化事業団職員)

調査員 中山雅弘・松本庸器

埋蔵文化財部門担当 江川逸生・木幡成雄(教育文化事業団職員)

調査員 江川逸生・檜村友延・木幡成雄・鈴木隆康・  
末永成清・木次谷裕子

② 磐城平城文献等調査会議開催経過

日	会議	協議内容
平成30年度		
2月8日	第1回	・座長等の選出 ・文献等調査の目的及びスケジュール ・調査の視点
3月8日	第2回	・史料収集リストの作成 ・文献等調査手法
3月25日	第3回	・文献等調査委託の概要 ・各委員の役割分担
令和元年度		
5月20日	第1回	・文献等調査の手法
8月9日	第2回	・文献等調査の進め方 ・各部門（歴史、地図、城郭、埋蔵文化財）の調査計画や調査項目
12月27日	第3回	・部門別会議の実施状況
3月17日	第4回	・協議事項の中間まとめ
令和2年度		
6月26日	第1回	・文献等調査および執筆の進捗状況
9月28日	第2回	・文献等調査および執筆の進捗状況
2月5日	第3回	・文献等調査および執筆の進捗状況
3月24日	第4回	・文献等調査および執筆の進捗状況
令和3年度		
7月2日	第1回	・文献等調査および執筆の進捗状況
10月12日	第2回	・最終稿の確認

③ 調査経過

令和元年（2019）

- 9月17日（火） 地図部門・城郭部門会議  
調査項目・原稿の内容等について協議
- 9月19日（木） 埋蔵文化財部門会議  
調査項目・原稿の内容等について協議
- 9月20日（金） 歴史部門会議  
調査項目・調査担当・調査方法等について協議
- 12月6日（金） いわき総合図書館調査（地図・城郭部門委員）  
内藤家文書マイクロフィルム調査事前打合せ
- 12月16日（月） 歴史部門会議  
調査計画書をもとに今後の調査について協議

令和2年（2020）

- 1月16日（木） 明治大学博物館所蔵絵図の調査協力依頼
- 1月23日（木） 明治大学博物館所蔵絵図のデジタルデータ提供依頼



- 4月2日(木) いわき総合図書館との史料調査打合せ
- 5月27日(水) 正保平城絵図の調査および写真撮影
- 6月15日(月) 松江歴史館所蔵絵図のデジタルデータ提供依頼
- 6月18日(木) 磐城平城下古地図の調査および写真撮影
- 6月23日(火) 城郭之図磐城平縣(福島県立図書館所蔵)の調査および写真撮影
- 7月2日(木) 平城跡発掘調査現地視察
- 7月6日(月) 磐城平城下絵図の調査と写真撮影
- 7月12日(日) 歴史部門会議
- 7月22日(水) 磐城平古地図(いわき総合図書館所蔵)の調査と写真撮影
- 9月29日(火)～30日(水) 平城跡現地調査(城郭部門-中井均氏指導)
- 10月22日(木)～12月28日(月) 磐城平御家中絵図および磐城平城内郭殿中図の借用
- 10月30日(金) 明治大学博物館所蔵内藤家文書の史料調査
- 10月31日(土) 平城跡発掘調査の動画撮影
- 11月4日(水) 磐城平御家中絵図および磐城平城内郭殿中図の調査と写真撮影
- 11月26日(木)～11月28日(土) 延岡市内藤記念館の史料等調査
- 12月10日(木) 歴史部門会議
- 12月14日(月) いわき総合図書館の史料借用
- 12月15日(火) 磐城平御家中絵図および磐城平城内郭殿中図の調査

### 令和3年(2021)

- 1月13日(水) 岡山大学附属図書館所蔵池田家文書のデジタルデータ提供依頼
- 1月14日(木) いわき総合図書館の史料返却
- 2月13日(土) 歴史部門・地図部門・城郭部門会議
- 2月16日(火) いわき市所蔵文書の史料調査(歴史部門)
- 2月24日(水) 平城跡および城下町の現地調査(城郭部門)
- 3月25日(木) 平城跡出土遺物の写真撮影(委託)
- 3月29日(月) 明治大学博物館所蔵絵図の写真撮影(委託)
- 4月27日(火) いわき総合図書館の史料調査(歴史部門)
- 7月17日(土) いわき市所蔵文書の史料調査(歴史部門)
- 7月22日(木) いわき市所蔵文書の史料調査(歴史部門)
- 7月28日(水)～29日(木) 壬生町立歴史民俗資料館の史料調査(歴史部門)
- 8月17日(火) 静嘉堂文庫所蔵城絵図の画像利用申請
- 9月9日(木) 公益財団法人前田育徳会尊経閣文庫所蔵城絵図「諸国居城図」の画像利用申請
- 9月16日(木) 公益財団法人前田育徳会尊経閣文庫所蔵城絵図「五畿七道城図」の画像利用申請
- 10月14日(木) 明治大学博物館所蔵内藤家文書の史料調査
- 10月14日(木) 岡山大学附属図書館所蔵絵図の画像利用申請
- 10月29日(金) 明治大学博物館所蔵内藤家文書(絵図)の資料利用許可申請

第1章 調査の経緯

11月9日(火) 延岡市内藤記念館所蔵絵図・木図資料画像掲載許可申請

11月15日(月) 齋藤富士男氏所蔵絵図資料掲載許可申請

11月19日(金) 岡山大学附属図書館所蔵絵図画像利用申請